

1. 評価報告概要表

作成日 平成19年12月21日

【評価実施概要】

事業所番号	1175700168
法人名	株式会社ウイズネット
事業所名	グループホームみんなの家蓮田東
所在地	349-0111 埼玉県蓮田市東2-1-19 (電話) 048-765-5080

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成19年12月14日

【情報提供票より】(平成19年11月17日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成12年10月1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	21 人	常勤	9 人, 非常勤 12 人, 常勤換算 18.1 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り 3階建ての1階～3階部分
------	----------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	15,000円+実費
敷金	有(120,000円)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
1日あたり 1,350円			

(4) 利用者の概要(11月17日現在)

利用者人数	25 名	男性	11 名	女性	14 名
要介護1	5 名	要介護2	10 名		
要介護3	5 名	要介護4	3 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81 歳	最低	69 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	上尾中央総合病院、春野クリニック、高木歯科クリニック
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは最寄りの駅から徒歩で10分と交通の便の良い住宅地にある。建物は3階建てのビルで、3ユニットあり、各ユニットの利用者は、エレベーターで自由に各階を行き来ができ、南側のガラス窓から太陽の光が射し込む明るいつくりで、窓辺にはイスやソファが配置され、利用者、職員が一緒にくつろいだり、談笑したりしている。各居室は睡眠時や一人の時間を落ち着いて過ごせるようにと馴染みの調度品が置かれ、壁などに飾ってある折り紙・切り絵が季節感にあふれており、理念である「ゆっくりとした生活」を目指す職員の配慮が随所に施されている。なお、併設の有料老人ホームとは、機械浴利用などを通して交流している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>救急時の対応として「全職員が応急手当を行えるような体制作りを」という提案に対しては、消防署の行う救命講座に、職員が順次参加しており、また、隣の有料老人ホームにAEDを設置するなどの対応がなされている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価をサービスの質の向上のための機会として積極的にとらえ、職員全員で自己評価の作成に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>利用者家族、地域住民、民生委員、地域包括支援センター職員、ホームの代表、管理者、職員が参加して、2ヶ月に1回開催している。会議を定期的に行い、ホームの活動報告をしたり、地域行事などを知らせてもらうことで、地域交流のきっかけとなっている。また、会議に参加したいという理由から家族の面会が増えている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>本部にお客様相談室を設けてある他に、年に2回、家族会を開いている。また、ホームの玄関に「ご意見箱」を置くなど、意見・苦情への対応の機会を多く設けている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>夏祭りに参加したり、利用者が通っている理髪店の店長がホームで津軽三味線を披露してくれたりしている。職員と利用者が近隣を一緒に散歩しながらゴミ拾いをしたり、廃品回収にも協力している。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全国に40カ所程グループホームを運営している法人の第一号の施設として、「常にその人らしく」という利用者本位の理念から、事業所独自に「ゆっくりとした生活」という具体的な理念を掲げ、管理者、職員が日々の暮らしの中で実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、全体会議や各ユニット毎の職員会議で、定期的に話し合いを行い、理念に沿ったサービスを実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏祭りへ参加したり、利用者が通っている理髪店の店長がホームで津軽三味線を披露してくれたりしている。職員と利用者は一緒に散歩しながらゴミ拾いをしたり、廃品回収に協力したりしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者と管理者は事業所の実状をありのままに見つめ、見落としに気づく良い機会として、積極的に自己評価及び外部評価をとらえている。また、職員は自己評価の作成に参加することで各自の仕事を見直し、この悩みをフロアー長や管理者に相談する機会となっている。前回外部評価の改善の提案に対しては職員全員で話し合い、改善に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、家族、民生委員、地域住民、地域包括支援センターの職員、管理者、フロアー長が参加して会議を開いている。ホームの活動を報告し、地域の情報を提供してもらうことで相互の交流を図っている。会議に参加したいと家族の面会が増えたり、地域の行事に参加しやすくなった。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所内にある地域包括支援センターにホームのパンフレットを届けたりして、市にホームの活動を知ってもらうよう働きかけている。市担当者とも、ホームの運営上困難なことが生じた場合は随時相談できる関係が築けている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	本部発行のネット通信の中に、フロアー長が利用者個別にお便りを書き、収支報告を添えて毎月郵送している。往診の結果については、状況に応じて、すぐに電話をするなどの対応をしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	本部にお客様相談室を設けてある他に、年に2回、家族会を開いて家族の意見を聞く機会を作っている。また、ホームの玄関にはご意見箱が置いてある。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職の場合は、利用者知らせてお別れ会を開いたり、または、あえて利用者に伝えず、利用者に聞かれたら答えるなど、状況に応じた対応をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社の一部門としての研修機関を有している。新人、フロアー長など、段階に応じての多彩なプログラムが用意され、各自の希望する研修が受けられる仕組みになっている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	頻繁に行われる社内研修では、他のホームの職員との交流が盛んに行われているが、他法人の事業所との交流は十分ではない。		市主催の会議や地区の研修会などにも積極的に参加して、地域の同業者との交流を図ることを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族や病院、それまで入所していた施設から、これまでの生活歴等を詳しく聞き、円滑に入居できるよう配慮している。また、実際にホームを見学してもらい、本人が納得してから入居してもらうようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の自立度にもよるが、歌が得意な人にはホームで歌ってもらったり、また、配膳や下膳、洗濯物をたたむなど、利用者ができることは手伝ってもらっている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	担当の職員が、普段の暮らしの中で、十分に利用者に向き合い、話し合いや見守りを通して、一人ひとりの思いや意向を受け止めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当職員が立てた介護計画をフロー会議で話し合い、更に、管理者が検討している。また、往診医や看護師のアドバイスを受けて、担当者会議内で計画内容について検討している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月毎に介護計画の定期的に見直しを行っている。また、利用者の状態に変化があった場合は、担当者会議を開き、管理者、職員全員で新たに適切な介護計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同一法人の介護タクシーを利用して、遠方の外出など柔軟に支援している。また、本人や家族の希望や状況に応じて、受診の介助や診察の同席を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時にホーム提携の医療機関の説明を充分に行い、本人、家族に納得してかかりつけ医を決めてもらっている。往診は月に2回実施し、また、利用者の状態に応じて緊急に対応してもらっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時の指針には、終末期の方針が明記されている。ホームとしても、利用者、家族の希望があれば、できる範囲で対応したいと思っている。		指針は作成されているが、実際に重度化や終末期の利用者がいた場合、ホームとしてどのような支援をするのか、対応策について具体的な検討はされていない状況である。早急に具体的な対応策の検討が望まれる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者への呼びかけは、誇りを損ねないよう、必ず「さん」付けできるように職員へ徹底している。記録類は面会簿にいたるまで全て、事務所で厳重に管理している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間の他は特に日課が決まっていないので、利用者は思い思いに自由に暮らしている。音楽の得意な人には歌の指導をしてもらい、将棋や花の水やり、また、配膳や下膳などできることは手伝ってもらうようにしており、利用者が家事に参加しているという充実感をもって暮らすことができる配慮がされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>本部の給食部の栄養士がバランスの良い献立をたて、専門の調理師が調理している。利用者が食べやすいよう、一人ひとりに合わせて、刻んだりつぶしたりしている。誕生会などの行事の時には、利用者の好みの献立に変更でき、材料の買い物に行き手作りのおやつを楽しむこともある。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>見守り程度でひとりで入浴できる利用者は、本人の希望の時間に自由に入浴できる。また、介助が必要な方でも、一般浴、または機械浴が必要な場合は隣接の特定施設を利用するなど、状況に応じた入浴ができるようにしている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>季節に応じて花壇の花を植え替えたり、花の水やりをしたりと好きなことをして過ごしてもらっている。また、テーブル拭き、お茶の用意、洗濯物をたたむなどの家事も、できる範囲で、無理をせず、手伝ってもらっている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>歩くことができる人は近くの公園への散歩など、なるべく毎日外出できるよう配慮している。車いすの人も、天気の良い日には出来るだけ外出できるよう職員は業務を工夫して対応している。</p>		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関を出るとすぐに車の行き来の多い道路であり、危険防止のため、やむなく家族の了承を得て鍵をかけている。居室には施錠していない。</p>		
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年に2回の消防署による消防訓練を受けている。利用者も職員と一緒に、消火器の使い方などを練習している。また、隣接の有料老人ホームとも合同で消防訓練を行い、協力体制をとっている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	専門の栄養士がバランスの良い献立を立て、その栄養士が実際にホームに来て食事に立ち会ったり、残した物の状況などを把握し、利用者の希望や状態に応じた食事作りを行っている。職員は食事量や飲水量を正確に記録し、適切な栄養摂取や水分確保に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広くて明るい居間には、ソファーと椅子がうまく配置されており、自室に閉じこもらず居間でみんなと過ごすことが楽しいと自然に思えるような配慮がされている。また、居間の壁に飾られた職員手作りの折り紙の作品（ひまわりや菖蒲の花、柿や栗など）が季節感にあふれており暖かい雰囲気を作っている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が長年使っていた食器などは、入居時に自宅から自由に持ち込めるようになっている。入居後も孫の作品や写真などを思い思いに飾るなど、利用者一人ひとりの好みに応じた居室環境づくりに配慮している。		